

ゼロカーボンとかち通信・冬号

十勝総合振興局では、ゼロカーボン北海道の実現に向けた動きや取組などについてお知らせするため、「ゼロカーボンとかち通信」を2021年9月から発行しています。

十勝総合振興局における 今年度のゼロカーボンイベント 振り返ってみました！



3月

職員実践行動開始（PC プラグ抜き）～7月まで

5月

- 12日：第1回市町村勉強会【開催】
- 11日：脱炭素経営セミナー【開催】
- 10日：第4回十勝次世代自動車研究会【開催】
- 9日：新規採用職員研修及び植栽活動【開催】
- 8日：北海道地球温暖化対策条例説明会【開催】



6月

- 11日：北海道立十勝工科大学パーク20周年イベント【出展】
- ・ノーカーデーとかち（6.26～7.23）

7月

- 3日：災害対策本部訓練（燃料電池車による給電）
- 7日：クールアースデー普及啓発【開催】
- 30日：親子で学ぶ再生可能エネルギー教室【開催】
- ・各所属重点行動（テーマ省エネ・節電）



8月

- 20日：オール十勝・森と木の暖房フェス【開催】

9月

- 23日：食べたいせつフェア【出展】
- 26日：第2回市町村勉強会【開催】
- 30日：オール十勝・森と木のゼロカーボン植樹祭【開催】
- ・ノーカーデー推進強化期間（9.20～10.31）

10月

- 4日：オープンカウンター方式支障木販売【開催】
- 13日：ゼロカーボンの取組に関する社会科見学事前学習会【開催】
- 25日：世界気候エネルギー首長誓約国際ワークショップ【出席】
- ・各所属重点行動（テーマ リデュースリユースリサイクル）

11月

- 8日：大規模需要家のための人材育成のための専門員派遣【実施】
- 6日：ゼロカーボンの取組に関する社会科見学【開催】

12月

- 9日：とかち・市民「環境交流会」2023【出展】



☆ゼロカーボン北海道とは？
気候変動問題に長期的な視点で取り組むため、2050年までに温室効果ガスの排出量の実質ゼロを目指すこと



十勝地域
ゼロカーボン推進室
Vol.18（2023.12）

7月

親子で学ぶ再生可能エネルギー教室 【商工労働観光課】

ファミリー層のゼロカーボンに対する理解促進を図るため、帯広高等技術専門学院主催のものづくり教室と連携し、参加親子に向けた再生可能エネルギーについてのミニセミナーと燃料電池カーの模型作り体験を実施しました。



子供達を歓迎するエアードームを膨らませました。



10月

世界気候エネルギー首長誓約国際 ワークショップ【環境生活課】

上士幌町に気候変動に取組む地方自治体の担当者が国内外から集まり、バイオガスパラント等の施設見学、ポスターセッションによる各自治体の取組が発表されました。また、「北海道十勝における持続可能なまちづくりへの挑戦」をテーマに、十勝総合振興局長、上士



（ポスター ニセコ町）

幌町長、鹿追町長、大樹町長が登壇し、各々自治体の取組が紹介され、パネルディスカッションでは振興局長から、ゲリラ豪雨による災害、猛暑による農作物の変化から気候変動を感じるなど、各首長から様々な意見が出され、会場からは、十勝におけるバイオガスパラントのポテンシャルの高さを感じるなどの意見がだされました。最後に事務局からは、十勝の地域資源の豊かさ、人柄から今後の取組に勇気付けられたと感想が述べられました。

事前学習会

液化バイオメタン (LBM)について、より理解を深めるため、社会科見学前に、その特徴や液化の仕組みについて学ぶ学習会を開催しました。



液化バイオメタン(LBM)を学ぶ

(株) エア・ウォーターの職員の方から液化バイオメタン(LBM)の特徴やガスを液体にする方法について学びました。

社会科見学



液化バイオメタン (LBM)の製造施設を見学し、製造方法について学びました。

液化バイオメタン (LBM) センター工場 (エア・ウォーターテクノサプライ (株) 帯広センター)



【バイオガス液化ユニット】



【バイオガス分離ユニット】

液体窒素の実験



①液体窒素でバナナを凍らせて、釘を木に打てみよう、「②風船を液体窒素で凍らせて、様子がどう変化するか見てみよう」、「③風船を液体窒素で凍らせて上から落としてみよう」の3つの実験を行いました。

「牛のふん尿から燃料が
つくられるなんて驚いた。
他の地域にも取組が広
がってほしい」

上士幌小学校6年児童

よつ葉乳業 (株) 十勝主管工場



【LNGタンク】



【バターづくり体験】

液化バイオメタン (LBM)の実証試験を行った施設を見学し、見学後はバターづくり体験を行いました。

9月23日、生活協同組合コープさっぽろ主催のイベントに「十勝地域ゼロカーボン推進室」として出展しました。

パネルでゼロカーボンについて学びつつ、楽しい体験プログラムには多くの子供たちが参加してくれました！

集中・・・

手の中の森～木のおもちゃで遊んでみよう～



わくわく！自分だけのオリジナルマイバッグづくり



木のいい香り

木育マスターさん



北海道の木で自分だけの箸をつくらう！

9月

食べる・たいせつフェスティバル in 帯広
【林務課・環境生活課】

十勝地域の森林づくりによるゼロカーボン社会の実現に向けた取組を広く地域住民等へ周知して理解の促進を図るため関係各市町、地元企業、教育機関との連携・協力による「オール十勝・森と木のゼロカーボン」を標語にした植樹祭を道有林内（豊頃町）「久保の森」にて令和4年、5年度にわたり開催しました。
2年間でカラマツのコンテナ苗を延べ4,000本植栽、参加人数はおよそ150名でした。



9月

オール十勝・森と木のゼロカーボン植樹祭
【十勝森林室】

「ゼロカーボン北海道」の実現に向けて、木質燃料ストーブの展示・実演、丸太切り・薪割り体験、木ズで着火剤づくり、飾り炭づくり、パネル展示などとおして木質バイオマス利用の理解促進を図る「オール十勝 森と木のゼロカーボン 木の暖房フェスタ」を帯広競馬場で開催しました。
開催2年目である今年は、とかちの木で家をつくる会と、とかち馬文化を支える会の2団体と提携し内容盛りだくさんイベントとなりました。



とかち馬文化を支える会によるポニーで馬搬実演



とかちの木で家をつくる会によるバードハウス作り、モビール作り、端材で工作



飾り炭づくり



丸太切り体験



薪割り体験



木質燃料ストーブ展示・実演



パネル展示



木ズで着火剤作り

8月

オール十勝・森と木のゼロカーボン
木の暖房フェスタ
【林務課】

EV（電気自動車）展示の様子



EVは現在、国内各メーカーから販売され、その種類11車種になっています。



十勝管内のEVスタンド 73カ所
(GoGoEV HPから) R5.12.20現在

FCV（燃料電池車）展示の様子

FCVへの関心は高く、質問をされるが、やはり車両価格とインフラの課題が浮彫に…。

FCVは小さな発電所！

電気供給時間 約4日間

一般家庭の消費電力が1日あたり10kwhの場合。

(トヨタMIRAIカタログから)

今年の3月に導入した十勝総合振興局のFCVを展示。外部給電器からの電源供給により、モニターからゼロカーボン関連動画を上映！



燃料電池車から電気が取れるんだ

災害時の電気供給に…



道庁経済部ブースの様子

道庁経済部ゼロカーボン推進局地球温暖化対策課「ゼロカーボン北海道キャラバン」
見て、聞いて、体験して身の回りのできるゼロカーボンの取組について知ろう！

エアロバイクによる発電体験では子供も大人も盛り上がりを見せました。



とがちプラザで帯広市主催の環境交流会が開催され、会場には行政機関、電気ガス事業者、環境団体などの21団体が参加し、パネル展、体験コーナーなどが出展されました。また、令和6年に国立公園への指定が予定されている日高山脈襟裳国立公園の写真展やビデオ上映会も行われ、会場には約1100人の来場者で賑わいを見せていました。

～お知らせ～

ファーストミーティング In とがち

脱炭素に関心のある管内自治体と企業との共創を後押しするセミナーを開催します。

日時：令和6年／14:00～15:30

1月26日（金）

※セミナー終了後に自由交流タイム
場所：北海道十勝総合振興局 3階講堂
帯広市東3条南3丁目1番地
オンライン配信あり Zoom

連絡先：十勝総合振興局環境生活課
(担当：吉澤・滝下)
0155-66-8622 (直通)



← 申込みはこちらから

「ゼロカーボン北海道」

北海道は二酸化炭素（CO2）等の温室効果ガスの排出量を2013年度比で2030年までに**48%削減し**、2050年までに**実質ゼロ**を目指しています。



省エネ家電への交換

電気自動車



私達にできる事は何？

歩いて通勤してみようかな

「ゼロカーボン」

とは、私たちが生活する上で生まれる温室効果ガスの排出量と森林などによる吸収量を均衡させ、実質ゼロにすることをいいます。

パネル展

